

本年度は激動する中国知財に注力します!!



活動内容と方針

委員数42名 委員長:岡本(新日鉄住金ソリューションズ)

<国際第3委員会のミッション>

中国、韓国、台湾についての

- ◆ 特許制度の調査研究
- ◆ 判例研究
- ◆ 知財戦略、知財活用の実態調査

<活動方針>

- ◆ まずは、楽しく活動しよう!
- ◆ “日本企業”としてだけではなく各国の“一出願人”という立場で検討する
- ◆ JIPA内外の他組織とも積極的に交流する
- ◆ 調査成果の積極的な意見発信

<中国復審に関する調査研究と「中国における特許権取得の留意点」改訂> 第1小委員会

<中国復審(拒絶査定不服審判)に関する調査研究> 第1WG

★目的★

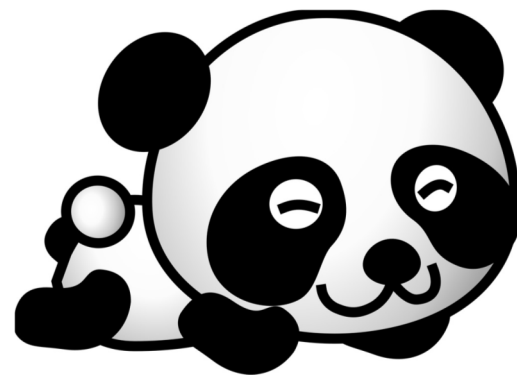
- ・中国復審に関する疑問点について調査研究し、会員企業にフィードバックを行う。

★背景★

- ・出願が拒絶査定されたら、復審を請求しても権利化見込みがあるか、よくわからない。
- ・復審なら、より高品質な審査が期待できそうだが、実態は良くわかっていない。

★研究方法(案)★

- ・中国特許庁データベースから審決を抽出し、実態を分析
- ・会員企業・現地代理人へヒアリング調査
- 拒絶査定を覆す率、審判所用期間などの実態を解明

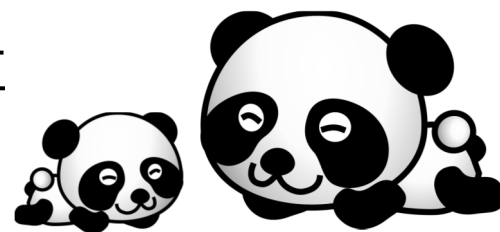


劉(パナソニック)、相澤(三菱製紙)、高田(YKK)、
平野(日東電工)、大和田(富士通)、堀(ブリヂストン)、米虫(カネカ)

<「中国における特許権取得の留意点」の改訂> 第2WG

★第3版(2011.10発行)後の実施細則や審査指南改正への対応

- ・具体的にはPPH制度、実用新案の実体審査等、追加及び修正
- ・職務発明規定の改正について情報収集
- ・2016年に改訂第4版の完成予定



和田(東芝テック)、岩本(第一三共)、橋本(富士フイルム)、長谷川(日鉄住金総研)、中(三菱電機)、山口(日本電気)、大峽(東洋紡)

<中国の権利行使／訴訟に関する調査研究> 第2小委員会

背景：専利権侵害の救済手段として行政摘発が増加(2011年以降顕著)。しかし・・・

小委員会15社内で中国で権利行使を行ったことのある企業は僅か1社。どちらかと言うと、権利行使を受けた際のことが心配。

狙い：中国の権利行使／訴訟に関する実務上の問題を抽出・調査し、会員企業に有益な情報を提供。

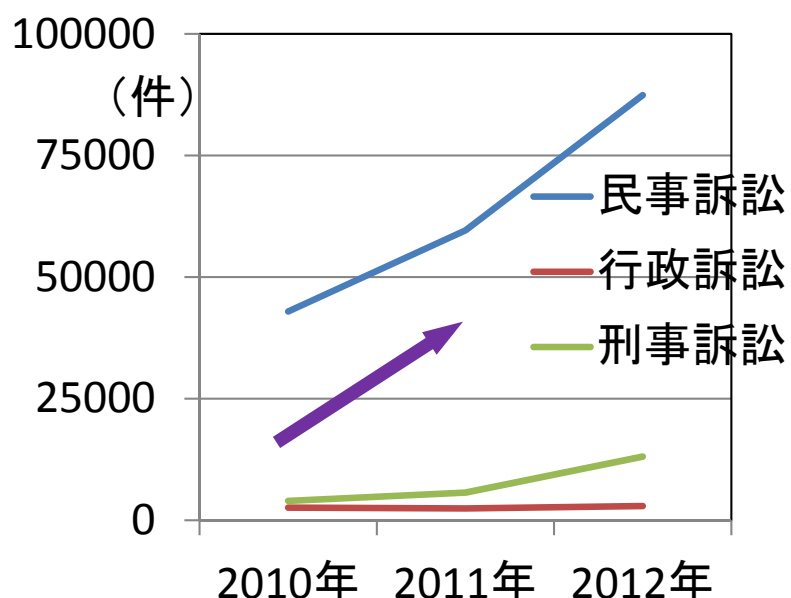
現地代理人・会員企業へのアンケート、ヒアリング実施

- 代理人および裁判所選定
- 特許と実用新案に関する訴訟の状況と留意点
- 侵害把握・証拠保全の留意点(公知技術の抗弁)

アウトプット：「知財管理」誌への投稿

※メンバー：平野(三菱エンジニアリングプラスチック)、西山(ソニー)、池田(三菱重工業)、佐藤(三井化学)、志賀(旭化成)、孫(大日本印刷)、内藤(凸版印刷)、山下(キヤノン)、臼井(フジクラ)、大谷(沖電気工業)、篠田(JSR)、関(ジヤトコ)、高橋(リコー)、藪田(クレ)、山口(日本たばこ産業)

知的財産権に関する訴訟が急増



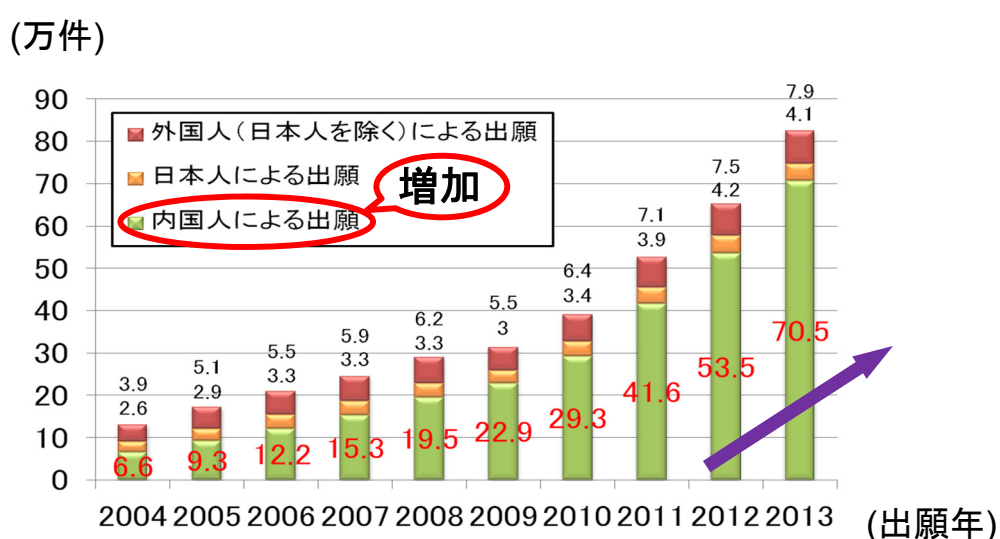
※グラフ：知的財産権一審事件の件数
データ出典：「中国知財関連司法動向調査」(2014年、JETRO)

<知的財産戦略等に関する調査研究> 第3小委員会

背景：外国企業の知財戦略調査の需要

中国人による出願の割合が急増していることから、中国企業の知財戦略全般に対する検討が必要なのでは？

狙い：急成長する中国企業の知財戦略の調査研究



※グラフ：中国の特許出願件数推移

データ出典：「特許庁年次報告書2014」

アウトプット：「知財管理」誌への投稿

Aチーム(通信系)

テーマ：中国グローバル企業の海外事業の展開

- 既に特許権が多く存在している不利な条件下での中国企業の知財戦略
- Huaweiや ZTEが海外売上比60%超の大企業に成長できた理由

瀧本(日立製作所)、熊坂(JFEテクノリサーチ)、鵜川(セコーエフソン)、傳(三菱マテリアル)、山田(島津製作所)、弓場(TDK)

Bチーム(化学系)

テーマ：Li-ion電池に関する中国企業の知財戦略

- 中国グローバル企業(BYD)、中国ローカル企業(天津力神電池)等の知財戦略比較を通じた、中国系企業特有の知財戦略研究

河村(ダイセル)、長島(旭硝子)、榊原(トヨタ自動車)、松本(カオ計算機)、張(武田薬品工業)、堤(豊田自動織機)、伏見(ADEKA)